

第 13 回 香川・岡山小児感染免疫懇話会 プログラム

日時:平成 20 年 2 月 3 日(日)12 時 55 分より

会場:岡山国際交流センター2F 国際会議場

〒700-0026 岡山市奉還町 2-2-1

TEL: 086-256-2905 FAX: 086-256-2226

当番世話人:桑門 克治

連絡先:倉敷中央病院小児科

〒710-8602 倉敷市美和 1-1-1

TEL: 086-422-0210 FAX: 086-421-3424

E-mail: kk7898@kchnet.or.jp

お知らせとお願い

●ご参加の皆様へ

1. 受付は2階の会場前で12時から開始いたします。
2. 参加費：2500円（医学生と卒後2年未満の臨床研修医師は無料です。）
3. 本会は、日本小児科学会専門医制度研修集会5単位、日本医師会生涯教育講座3単位に認定されています。
4. 2階クロークの利用時間は12:00-18:00です。

●一般演題発表者の皆様へ

1. 口演時間は発表8分、討論7分です。時間厳守にご協力ください。
2. ご発表はWindows版Power Point2002で動作確認したファイルをご使用ください。これよりも上位のものやMac版、あるいは動画を用いられる場合にはご自分のパソコンをお持ちください。
ファイルは1月28日15時までに当番世話人までお送りください。
 - ・10MB未満であればメールに添付してkk7898@kchnet.or.jpへ。
 - ・10MB以上の場合はCD-Rに入れて郵送してください。念のためオリジナルのファイルをUSBフラッシュメモリーなどに入れてお持ちください。
3. ご発表の30分前までに受付をお済ませください。
4. 次演者はあらかじめ次演者席にお着きください。
5. スライドの切り替えはリモコンを使ってご自分で操作して下さい。
6. 進行などは座長の指示にお従いください。

●座長の皆様へ

1. 次座長はあらかじめ次座長席にお着きください。
2. 進行は座長に一任しますが、時間厳守でお願いします。

●世話人会

2月3日12時より岡山国際交流センター3F研修室で行います。

●懇親会

懇話会終了後に地下1Fで行います。

ふるってご参加ください。参加費：2500円

2階のクロークに預けられた荷物は18時までにお受け取り下さい。

会場地図

第 13 回香川・岡山小児感染免疫懇話会

会場: 岡山国際交流センター2F 国際会議場 懇親会は同センターの地下1F です。

〒700-0026 岡山市奉還町 2-2-1 TEL: 086-256-2905 FAX: 086-256-2226



平成19年 11 月に JR 岡山駅が改装され、西改札口がなくなりました。
 駅 2 階の中央改札口を出て東西連絡通路を西に向かい、
 全日空ホテルの手前で地上に降りて、小道を北上するとよいかもしれません。



第 13 回香川・岡山小児感染免疫懇話会

12:55 開会挨拶

13: 00 ～13:30 一般演題1 座長 今井 正 (香川大学)

1. 痙攣重積にて ICU 管理を必要としたロタウイルス感染症に伴う急性脳症の 1 例
倉敷中央病院

○^{の だ よし のり}野田良典、田中愛子、福島雅子、大野智子、上山伸也、柴田敬、徳増裕宣、
豊田直樹、西恵理子、横山宏司、田中紀子、原茂人、西田吉伸、藤原充弘、
渡部晋一、脇研自、桑門克治、新垣義夫、馬場清

2. ロタウイルス胃腸炎に伴う急性脳症型 Hemiconvulsion-Hemiplegia 症候群の一例
香川大学

○^{お お は い く こ}大橋育子、小谷野薫、伊地知園子、岩城拓磨、黒見徹郎、岩瀬孝志、
西田智子、難波正則、今井正、磯部健一、伊藤進

13:30～14: 15 一般演題 2 座長 安井 耕三 (岡山大学)

3. マイコプラズマ脳炎の1例
香川小児病院

小児科 ○^{ふ じ わ ら ゆ み}藤原由美
神経内科 桐野友子、遠藤彰一、福田邦明

4. インフリキシマブとタクロリムスの併用が著効した難治性全身型若年性特発性関節炎の 1 例

1) 岡山労災病院 2) 岡山大学

○^{ま ん き あ き ら}萬木章^{1) 2)}、八代将登²⁾、津下充²⁾、和田智顕²⁾、安井耕三²⁾、森島恒雄²⁾

5. シェーグレン症候群を合併した全身性エリテマトーデスの一例
高松赤十字病院

○^{さ か た み ほ}阪田美穂、森達夫、岡村和美、清水真樹、高橋朋子、幸山洋子、関口隆憲、
大原克明

14: 15～14:45 一般演題 3 座長 萬木 章 (岡山労災病院)

6. 今春に経験した冷式自己免疫性貧血の一例

津山中央病院

○^{まつした ひるあき}松下博亮、北本晃一、山本倫子、片山 威、杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

7. ガンマグロブリン不応性川崎病に対する cyclosporin 使用経験

岡山医療センター

○^{つかはら こうへい}塚原紘平、木村健秀、森田啓督、上田悠子、森茂弘、小倉和郎、清水順也、
福原信一、古城真秀子、古山輝久、金谷誠久、白神浩史、久保俊英

14:45～ 15:30 一般演題 4 座長 岩井 朝幸 (香川小児病院)

8. PCR 法を用いた *Chlamydia pneumoniae* に関する検討

川崎医科大学

○^{かわい やすひろ}河合泰宏、寺西英人、藤本洋樹、井上美佳、宮内彩花、若林時生、前嶋陽子、
赤池洋人、石井良樹、織田慶子、荻田聡子、川崎浩三、寺田喜平、片岡直樹、
尾内一信

9. A群β溶血連鎖球菌感染症による咽頭炎—水島中央病院における2007年

水島中央病院

○^{は せ い じょう}長谷井嬢、竹迫倫太郎、田中 勲、名木田章、小林嘉一郎

10. 2007年に当科に入院した麻疹症例

岡山赤十字病院

○^{もりゆ きえ}森有希恵、楢原幸二、木口朋子、高島和章、磯部智香子、山下美保、
小島千明、川田珠理、安藤由香、江口直宏、井上勝

15:30 ～15:40 休憩

15:40 ～16:40 **教育講演** 座長 寺田 喜平 (川崎医科大学)

「Secondary Vaccine Failure との出会いから」

岡藤小児科医院院長 **岡藤 輝夫 先生**

16:40 ～ 17:40 **特別講演** 座長 桑門 克治 (倉敷中央病院)

「薬剤性過敏症症候群の謎に迫る」

杏林大学皮膚科教授 **塩原 哲夫 先生**

17:40 ～ 閉会挨拶

17:50 ～ 懇親会 (地下 1F にお越し下さい。参加費 2500 円)

第 14 回香川・岡山小児感染免疫懇話会

平成 21 年 1-2 月頃の予定です。

当番世話人 岩井 朝幸(香川小児病院)

特別講演

薬剤性過敏症症候群の謎に迫る

杏林大皮膚科教授 しおはら てつお 塩原哲夫

Drug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS)は限られた原因薬剤を長期(3週間以上)内服後に生じ、薬剤中止後も多臓器に様々な症状を繰り返す不思議な薬疹である。臨床経過は極めて多様性に富むものの、どんな経過をとった場合でも発症3週目前後に6型ヒトヘルペスウイルス(HHV-6)の再活性化を認める。しかも、経過中にHHV-6と相前後して、それ以外の様々なヘルペス属ウイルスも連続的に再活性化することが明らかになってきた。臨床症状は免疫の活性化を思わせる一方で、発症時にはIgGやB細胞が著明に低下し一種の免疫抑制状態にあることも分かってきた。さらに興味あることに、本症が治癒した数年後に、しばしば1型糖尿病などの自己免疫疾患が生じてくる。

このような病態がどのような機序で生ずるかについて、我々の教室で明らかにされつつある研究成果を述べ、御批判を仰ぎたいと考えている。

略歴

昭和48年 慶應義塾大学医学部 卒業
53年 慶應義塾大学医学部皮膚科 助手
54年 杏林大学医学部皮膚科 講師
58-60年 米国エール大学医学部皮膚科
63年 杏林大学医学部皮膚科 助教授
平成6年 杏林大学医学部皮膚科 主任教授

学会

日本皮膚科学会 理事
日本研究皮膚科学会 監事
日本皮膚アレルギー学会 理事
日本アレルギー学会 代議員
Dermatology (スイス) Associate Editor
臨床皮膚科、Visual Dermatology 編集委員
日本免疫学会、日本臨床皮膚科医会、
日本接触皮膚炎学会、日本乾癬学会
Society for Investigative Dermatology

教育講演

Vaccine preventable disease の疫学

—Secondary vaccine failure との出会いから—

おかふじ てるお
岡藤小児科医院院長 岡藤輝夫

私が Vaccine preventable disease についての疫学的な研究に取り組むきっかけになったのは、1961年に生ワクチンの緊急投与によりポリオが終息していくさまをまのあたりにしたことです。1968年には異型麻疹を経験、1984年には本邦ではじめて Secondary vaccine failure による修飾麻疹の報告をすることができました。

これらの報告がきっかけとなって、

- 麻疹ワクチン接種後の抗体持続の問題
- 不顕性感染の機会の減少が抗体減衰に及ぼす影響
- ワクチン接種率の正確な把握法

などの調査研究に携わっていますので、紹介させていただきます。

略歴

昭和36年 岡山大学医学部卒
昭和41年 岡山大学大学院医学研究科
(小児科学)終了
医学博士
昭和45年11月 岡藤小児科医院開設

日本小児科学会認定・小児科専門医
兵庫県感染症対策専門委員会委員
兵庫県小児科医会感染症対策委員会委員長

学会

日本小児科学会
日本外来小児科学会
日本感染症学会
日本ワクチン学会
臨床ウイルス学会
日本小児感染症学会